

11月になり、葉っぱの色が赤や黄色へと美しく色付き始めました。落ち葉を拾う子ども達も、秋から冬への移り変わりを  
感じているようです。冬に向けて心も体も元気に過ごせるよう、風邪の予防を行えると良いですね。

先月は熱と胃腸炎でお休みするお子さんが数名いました。今回は発熱時の対応について掲載します。ご参照ください。

\*\*\*\*\***発熱時の対応**\*\*\*\*\*

登園を控えるのが望ましい 場合	保育が可能な場合	保護者の方へご連絡するめやす
<ul style="list-style-type: none"> <li>朝から<b>37.5℃</b>を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。</li> <li>食欲がなく朝食・水分が摂れていない。</li> <li><b>24時間以内</b>に解熱剤を使用している。</li> <li><b>24時間以内</b>に<b>38℃</b>以上の熱が出ていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前日<b>38℃</b>を超える熱が出ていない。</li> <li>熱が<b>37.5℃</b>以下で元気があり、機嫌がよく、顔色も良い。</li> <li>食事・水分が摂れている。</li> <li>排尿の回数が減っていない。(脱水になっていないかという事)</li> <li>咳や鼻水を認めるが憎悪していない。</li> <li><b>24時間以内</b>に解熱剤を使っていない。</li> <li>発熱を伴う発疹が出ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>37.5℃</b>以上あり元気がなく機嫌が悪い。</li> <li>食欲がなく、水分が摂れない。顔色が悪い。</li> <li>排尿回数がいつもより減っている。</li> <li>その他の不快症状(腹痛・吐き気・数回続く下痢や嘔吐など)が伴っている。</li> <li>*熱性けいれんの既往児は医師の指示に従い、保護者の方と相談し決めた上で対応致します。</li> </ul>

※どんぐりは、集団保育の場です。病院に受診する際は、必ず園に通っていることを医師に伝え、どのような状態になれば登園が可能かを、相談して頂くようお願い致します。

## 感染性胃腸炎が流行り始める季節です



- 毎年冬になるとノロウイルスなどの胃腸炎が流行します。
- ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。
- 下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行ってください。

### 汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。



消毒ができれば洗濯機に入れて大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。



## 塩素消毒方法

### 準備

- \*塩素系漂白剤6%のもの (キッチンハイターなど)
- \*500mlペットボトル \*水

### 消毒液作り方

ペットボトルに水500mlとキッチンハイター原液をペットボトルのキャップ2杯入れる。

### 嘔吐物処理

使い捨て手袋を履き、嘔吐物を取り除いた後、汚れた場所にペーパーを敷き消毒液をかけ10分間置く。最後に全て密封して捨て水拭きする。

## 園で衣類が下痢・嘔吐物で汚れた場合…

園では衣類の消毒は出来ません。汚れを落とせるだけ落として水洗いし、袋に入れてお返しします。消毒・洗浄は、ご自宅でして頂きますようご協力よろしくお願い致します。

## 胃腸炎にかかってしまった場合…

脱水にならないよう、水分補給が大切です。吐き気が強いあいだは、しばらくは何も飲ませず様子を見ましょう。吐き気が落ち着いてきたら水分(電解質飲料、野菜スープ、薄めたりんご果汁など)を少しずつ与えましょう。吐き続ける時、元気がなく顔色が悪い時、唇が乾いて、おしっこが少ない時には早めに受診をしましょう。